|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 他の資産への影響は以下の通りである．   |  |  |  | | --- | --- | --- | | 金利 | 短期金利： | 日本は同水準，米国は上昇 | | 長期金利： | 日米ともに上昇 | | 為替 | ドル円為替の水準が低下 | | | 債券 | 日米ともに収益率が低下する傾向 | | | 株式 | 日本株式収益率は同水準，外国収益率は上昇 | | | 第３総合口  第２総合口  インカム系オルタナ | 水準が上昇 | | |

日米の短期金利および，長期金利の水準を表すLの将来シナリオは以下の通りである．

【日米短期金利，Lのグラフ】

為替は日米短期金利の差に影響を受ける．米国金利が上昇するため，ドル円為替四半期収益率が低下し，ドル円為替自体も円高方法へ推移する．

【ドル円為替のグラフ】

日本の金利は上昇する傾向にあるため，日本債券の収益率は低下する．米国については，金利の上昇に加え，為替が円高方法へ推移するため，外国債券についても収益率が低下する傾向にある．

【日本債券・外国債券のグラフ】

パターン⑥

変更前

グリッドサーチを使用しない

変更後

グリッドサーチを使用する

* 特に変動が大きい資産

日米金利，日本債券，外国債券

* 資産の変動

|  |
| --- |
| 短期金利については日米ともに上昇，長期金利については日本が低下し，米国が上昇する． |

【日米の短期金利，Lを記載】

|  |
| --- |
| 日本債券，外国債券ともに，初年度付近では収益率が上昇し，それ以降は収益率が低下する． |

【日本債券，外国債券のシナリオ】